根　井　寿　規　　教授

役　　職：博士課程 科学技術イノベーション政策プログラム・ディレクター代理
専門分野：エネルギー政策、地域産業政策
学　　位：理学士（東京大学）
略　　歴：1981 年 4 月　通商産業省入省
1997 年 6 月　日本貿易振興会（JETRO）ヒューストン･センター次長
2001 年 1 月　経済産業省通商政策局中東アフリカ室長
2002 年 7 月　経済産業省資源エネルギー庁資源燃料部石油精製備蓄課長
2003 年 5 月　イラク暫定施政当局派遣（外交官）
2003 年 8 月　経済産業省貿易経済協力局技術協力課長
2005 年 9 月　経済産業省原子力安全・保安院原子力発電検査課長
2008 年 7 月　経済産業省東北経済産業局長
2009 年 7 月　経済産業省原子力安全･保安院審議官（総括・核燃料サイクル担当）
2012 年 4 月　独立行政法人石油天然ガス金属鉱物資源機構理事
2014 年 6 月　政策研究大学院大学教授

1．業　績（A）

（1）　雑誌論文（単　著）

＊ 根井寿規「いつか来た道!?」日本原子力学会誌 vol.57, No.12, p.5-6, 2015

（2）　学会発表

＊ Clifford A. Lipscomb, Hisanori Nei et al, 33rd. International Association for Energy Economics (IAEE) North American Conference, “Shale Gas Development and Japan”, Oct. 2015

＊ Hisanori Nei, 33rd IAEE North Amarican Conference, Presiding（司会）, Concurrent session 41 “Nuclear Energy”, Oct. 2015

＊ Hisanori Nei, 5th IAEE Asian Conference, Opening Plenary Session, “Future impacts of Nuclear on the Asian Natural Gas Market —A Case Study in Japan”, Feb. 2016

（3）　その他

＊ 受託研究報告書（受託元：三菱総合研究所）「世界の石油・天然ガス市場分析」2016 年 2 月 1 日

2．業　績（B）

（1）　書評・解説等

＊ 書評：山口栄一編「イノベーション政策の科学」、日本ベンチャー学会誌『ベンチャーレビュー』March 2016

3．助成金等による研究

＊ 受託研究（受託元：三菱総合研究所）「世界の石油・天然ガス市場分析」研究代表者　根井寿規

４．教　育

（１）　講　義

＊ エネルギー政策概論（春学期）

＊ Outline of Energy Policy（春学期）

（２）　論文指導

＊ Young Leaders Program：修士課程 1 名（主指導）

＊ 科学技術イノベーション政策プログラム：博士課程 1 名（副指導）

＊ 公共政策プログラム：博士課程 1 名（副指導）

＊ 安全保障・国際問題プログラム：博士課程 1 名（副指導）

（３）　研修事業

＊ 政策連携強化プログラム（SPRI）

（４）　その他

＊ STI 博士課程学生（2015 年度学位取得修了）の博士論文作成に必要な関係機関への面談アレンジ

５．管理・運営への関与

（１）　委員会

＊ 奨学金委員会・博士課程委員会・修士課程委員会（2015 年 4 月 22 日）

＊ グローバルリーダー育成センター運営委員会

＊（博士・修士）科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー

（２）　その他

＊ GRIPS マンスフィールド財団合同セミナー（2015 年 5 月 13 日）

＊ 国際原子力シンポジウム「女性が語る原子力―なぜ必要か、なぜ安全か、なぜ他にないのか」を日本エネルギー経済研究所と共催、海外招聘講師の講演内容等の調整等実施（2015 年 5 月 19 日）

＊ トヨタ自動車スタディツアー引率（2015 年 7 月 21–22 日）

＊ SciREX Summer Camp 参加（2015 年 8 月 21–23 日）

＊ 第 118 回 GRIPS フォーラム「日本における地熱エネルギー利用の現状と将来」の講師アレンジ及び司会進行等（2015 年 11 月 30 日）

＊ 第 15 回 SciREX セミナー「リソースロジスティクスの可視化に立脚したイノベーション戦略策定に向けて」の講演内容調整及び関係機関への周知等（2016 年 2 月 29 日）

＊ 第 71 回 GIST セミナー「科学技術に関連する大災害発生時の対応と国際協力に関する課題―福島第一原子力発電所の経験を踏まえて」の講師アレンジ及びコメンテーターとしての参加等（2016 年 3 月 14 日）

＊ 日本エネルギー経済研究所（IEEJ）と学術交流協力覚書（MOU）締結調整（2016 年 3 月 16 日）

＊ SciREX セミナー特別版（英国政府主席科学顧問マーク・ウォルポート卿）「英国におけるエネルギー技術予測の取組」にコメンテーターとして参加（2016 年 3 月 22 日）

６．社会的貢献（Ａ）

（１）　学会等における活動

＊ 日本機械学会「原子力の安全規制の最適化に関する研究会」委員（2015 年 2 月～）

- 同研究会海外調査として、中国及び台湾を訪問（2015 年 11 月）

＊ 日本原子力学会夏期セミナー講演「福島第一原子力発電所事故の教訓対応を超えて、原子力安全確保への取組みへの所見―原子力安全･保安院での経験と最近の米国関係機関（NRC 等）との意見交換結果などから―」2015 年 8 月 18 日

7. 社会的貢献（B）

（1） ジャーナリズムを通じた発言

① 活字メディア

＊ インタビュー：「合理化の副作用が出た」、日本経済新聞（2016 年 2 月 7 日）

＊ コメント：「規制庁：原発関連資料、大量放出」（原子力規制委員会関連コメント）、毎日新聞（2015 年 10 月 3 日）

（2） 講演会，座談会，会議出席

＊ 講演：“Energy in Japan after Fukushima —Nuclear vs Coal Natural Gas not Renewable—”，テキサス大学エネルギー経済研究所（CEE）年次総会（2015 年 12 月）

＊ 講演：“Nuclear in Japan after Fukushima”，テキサス大学 CEE 第 3 回原子力ラウンドテーブル（2016 年 1 月）

＊ 講演：“Energy in Japan after Fukushima”，ヒューストン日米協会（2016 年 2 月）

＊ 講演：「地方再生･地域活性化を考える―米国の事例に学ぶⅡ―」、山形県鶴岡市 JIMOTO 研究会講演（2016 年 3 月）（山形新聞、荘内日報報道付）

＊ 会議出席：「世界経済フォーラム『2016 年グローバル・エネルギー・アーキテクチャ評価インデックスレポート』ラウンドテーブル」、世界経済フォーラム、日本エネルギー経済研究所共催（2016 年 3 月 8 日）